

Eiko Soccer Times



栄光学園サッカー一部後援会便り 2021.10.1

想像をはるかに超える長いコロナ禍対応期間となりましたが、ようやく第5波の収束を迎えようとしています。2020年～2021年の栄光サッカー一部関連の活動状況をお伝えします。

1. 中高生、学校の部活動の状況

・2020年7月以降、緊急事態宣言のため結局2021年2月末までは、ほぼ部活動停止期間だった。

【中学 2021 年度】

- ・2020年4月～の鎌倉市内大会 > 優勝。
- ・2020年4月～中学湘南ブロック大会 > 準々決勝で敗退。

【高校 2021 年度】

- ・2021年4月～ 高校総体予選 > 1回戦PK戦の未敗退。
- ・2021年7月22日から、東京都が行っている緊急事態宣言と同等の措置としてまん延防止等重点措置を推進していたが、7月30日の特措法に基づく再度の「緊急事態宣言」となり、政府指導に基づき現在学校の対応ルールは、第5波と言われる9月現在、中高生の登校による部活動は認めるが、外部試合や大会出場は不可となっている。

2. クリニックの開催状況

- ・2020年12月に中学の湘南ブロック中学サッカー新人戦の3回戦トーナメント(@片瀬中)の観察以降、
- ・2021年に入って、中学の鎌倉市大会の一部と高校Bチームの総体予選を観察するも観察結果を柴野先生以下の顧問の先生方に各試合の観察コメントをメールして情報交換は続いている。
- ・各試合の観察により、中高チームの状況および現状把握はできているので、観察により更に具体的にチーム分析結果を確認する事ができるようになった。
- ・各チームとも明確な今後の課題が浮き彫りにされているので、これらの課題を克服すべくできればグラウンドでのクリニックを開催したいところ。
- ・クリニック開催には、顧問の先生方も期待があるようなので、当面はコロナの状況次第でクリニック実施の日程調整を行う予定。

3. OB会・後援会の活動状況

- ・クリニック開催による支援
- ・2021年1月の「OB会総会および初蹴り会」は中止。
- ・3月の「69期送り出し会」は、簡略化してグラウンドで行い、事務局(高橋)が代表出席で出席。
- ・「後援会総会」は当初の日程を延期し8月再調整とするも、結局は中止。
- ・人工芝グラウンド敷設へのアプローチ
→現状、去年の学校のグラウンド改修事業による成果で、ある程度砂地の平らなグラウンドが確保できているが、そ

れでも 2～3 年でメンテナンス実施は必至。その際に今後のグラウンドの在り方に関し、人工芝を含めどのようなスケジュールでどういう形にすべきかとの議論を深めていくことが必要。

→サッカー部 OB 会として考え方をまとめ、学校側にも意見を伝えていくべきである。

・コロナに負けず、常に「サッカー部」として情報発信を続ける事は重要。

→情報配信のベースとなる Web 情報の整備が必要。

→会員が任意で簡単にアクセスできるアーカイブ情報を共有して行ける環境を整備したい。

・財務状況関連

※2019 年度、2020 年度と2年連続で会費収入が段階的に下がって来ている。

→OB会員への認識喚起が必須。

→上記4. のような情報共有ベースの環境確立は必須。

→特にOBの若い方への配慮を優先する視野が必要。

4. 後援会活動関連の課題

コロナ禍の影響が著しく、まだ先行きも不明の状況ではあるが、いずれにしてもこの期間の時間を無駄にしないで、「今、出来る事を推進しよう！」を合言葉に活動を継続する所存である。

◆今こそOBとしての提言、助言などの支援が必要。

◆栄光サッカーの質の向上への努力を維持するためにもクリニック開催が必要。

◆定常的な現役支援を続けるためにも、OB会、後援会組織の強化、会員拡大が必要。

◆サッカー部OBの総意として、部活動の設備環境整備に関する意見をとりまとめて学校に伝える事が必要。

以上、不明点は、事務局 (eiko.soccer@gmail.com)宛にメールでお問い合わせください。

2019 年 12 月 発行

発行：栄光サッカー部後援会 〒247-0071 神奈川県鎌倉市玉縄 4-1-1 栄光学園同窓会(気付)

編集長：坂本 隆

事務局：高橋正明 [email:eiko.soccer@gmail.com](mailto:eiko.soccer@gmail.com)

ホームページ <http://www.eiko-soccer.net/>

Copyright © All rights reserved.